

「企業間連携を通じた水素の有効活用によるCO2排出量の削減」の「低CO2川崎ブランド'12」認定について

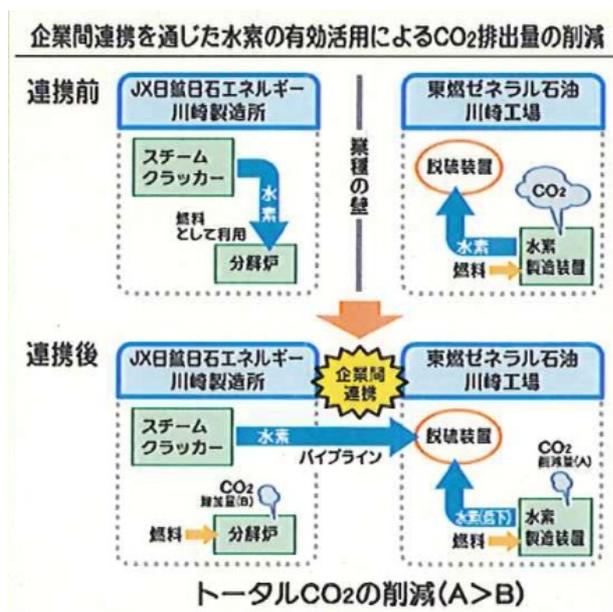
記者各位

JX日鉱日石エネルギー株式会社(社長:一色 誠一)の川崎製造所(以下「当所」、所長:原田耕治)と東燃ゼネラル石油株式会社川崎工場(以下「東燃ゼネラル石油川崎工場」)が共同で行っている「企業間連携を通じた水素の有効活用によるCO2排出量の削減」が、神奈川県川崎市が主催する「低CO2川崎ブランド'12」に認定されましたのでお知らせいたします。

川崎市は、2008年度にライフサイクル的な視点で製造された製品や技術等の間接的なCO2削減効果を検討し、低炭素社会への貢献を見える化する仕組み「CO2削減川崎モデル」を策定し、2009年度から3年間の試行実施を踏まえて、このモデルに基づいて製品や技術等のCO2削減の貢献度を評価する「低CO2川崎ブランド」を、2012年度から本格的に実施しています。

当所ではスチームクラッカー(エチレン製造装置)から発生した水素の一部を燃料として利用し、一方、東燃ゼネラル石油川崎工場では水素製造装置で脱硫工程(石油製品から硫黄分を取り除く工程)に必要な水素を製造していました。今回認定された企業間連携では、当所からパイプラインで水素を東燃ゼネラル石油川崎工場に移送し有効活用することで、両社合計で年間約1800トンのCO2排出量を削減するとともにコスト削減となり競争力向上を図っています。

本日(2月1日)、川崎市内で行われた「川崎国際環境技術展2013」において認定結果発表会があり、川崎市長から認定証が授与されました。



企業間連携を通じた水素の有効活用によるCO2排出量の削減



認定結果発表会 左から当社川崎製造所 原田所長、阿部川崎市
長、東燃ゼネラル石油川崎工場 宮田工場長

【本件に関するお問い合わせ先】

川崎製造所総務グループ044-276-3511

広報部広報グループ 03-6275-5046